

2017-2018 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 6



【旧ロシア領事館】

旧ロシア領事館は、函館とロシアとの交流の歴史を物語る象徴的な建物で、当時日本で活躍していたドイツ人建築家のゼールにより設計されました。
レンガ造り2階建ての本館は、玄関に唐破風（からはふ）を用い、日本的意匠を加味した珍しい様式であるとともに日本に唯一残る帝国ロシア時代の領事館の建物である、函館市の「景観形成指定建築物」となっています。
ロシア革命後もソビエト連邦の領事館として使用されており、終戦前の1944年まで実際に使用されていました。

【旧イギリス領事館】

旧イギリス領事館は1859年の開港とともにアメリカ、ロシアに次いで函館は3番目に開設された領事館です。
数回の火災にあったのちこの場所に再建しましたが、再び火災により焼失し、現在の建物は1913年、イギリス政府工務省上海工務局の設計によって竣工し、1934年に閉鎖されるまで領事館として使用されていました。
2009年3月、開港150周年を機に展示内容を一新し、開港都市のシンボルとして新たな歩みを始めました。中庭にある60種149株を植え込んだバラ園は、例年6月下旬から8月上旬が開花の見ごろです。



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」



**国際ロータリー第2510地区
 2017-2018年度地区目標**

1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと
 しています。

2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。
 地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。
 ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●長万部RC植樹事業報告.....10
●ガバナーの想い 永遠に！..... 4	●ハイライトよねやま.....11
●地区クラブ支援委員会..... 5	●ロータリーコーディネーターNEWS.....12
●第6グループI M報告..... 6	●米山奨学生のご紹介.....13
●第12グループI M報告..... 7	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付.....13
●第1グループI M報告..... 8	●地区カレンダー6月.....14
●第26回長沼国際交流フェスティバル..... 9	●出席率・会員数.....15
●新世代交流会..... 9	●トロント国際大会案内.....16
●新会員のご紹介/訃報.....10	●文庫通信.....17



イアン・ライズリー会長からのメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

2017-2018年度も残すところ1ヶ月を切りました。皆様も本年度のまとめ、そして次年度の準備と大変忙しい日々を送られておられると思います。本日、国際ロータリー、イアン・ライズリーRI会長よりメッセージが送られて来ましたので掲載します。

親愛なるロータリーリーダーの皆さま

2016年規定審議会で、会費（人頭分税金）を、2017-18年度、2018-19年度、2019-20年度の3年度にわたって4ドルずつ増額する立法案が採択されました。この決定により、年間会費は2017-18年度に60ドル、2018-19年度に64ドル、2019-20年度に68ドルに増額されます。

歴史的に、国際ロータリーは会費を増額することに非常に消極的であり、過去の会費の増額は非常に小幅なものとなっています。ロータリーの最初の会費は、1910年で1人あたり年間1ドルでした。これは現在の約26.90ドルに相当します。当時の事務総長だったチェス・ペリー氏は、事務局の賃貸料、速記、電話、郵便切手、タイプライターなど必要なものの購入費を払うには不十分だと述べていました。

今日のロータリーはとてつもなく大きな組織となり、複雑な世界で複雑な活動に従事しており、その運営のために非常に大規模な予算を必要としています。事務局スタッフは、世界各地の120万人のメンバーをサポートしていますが、資料、クラブ支援、研修、国際行事、言語サービス、IT、財団関連のサポート、リーダーシップ支援など、ロータリーの活動全般を運営できているのは、主にスタッフの素晴らしい仕事のお陰です。

しかし、RIがロータリアンに対し予算内で提供できる業務と、ロータリアンが必要とし期待する業務に差異が生じていることも明らかとなっています。10人のうち9人のロータリアンが事務局からの支援を増やして欲しいと望んでいます。しかし、ロータリーの

現況と収入、グローバルなインフレ、世界金融市場の継続的な変動に鑑み、私たちにはRIの業務を減らすか、会費を増額するか2つのオプションしかありませんでした。ロータリーの継続的な成長と繁栄を今後も求めていくかどうか、選択しなければなりません。

会計士として、私には財務責任があり、長期的な財務計画を非常に真剣に受け止めています。会費を適度に増額することが、唯一生き残れる道であることは疑いもなく明白でした。財務5カ年見通しに基づくと、1ドルの会費増額による収入増は1.8%で、世界のインフレ率2.5%を下回ってしまいます。2ドル増額でも、2019年までの理事会目標である剰余金が必要レベルを下回り、3ドル増額しても、2018年までの剰余金目標をわずかに上回る程度です。これらのオプションでは、会員が希望すること（奉仕の増加と向上、事務局支援の増加と向上）をかなえることは不可能です。

2016年に承認された会費増額の結果、ロータリーは、健全な財務基盤を構築し、かつ、未来に投資することができるようになります。ここで、会費がどのように使われるか、そして、今後の計画についてご説明したいと思います。

皆さまの会費は、ロータリーの最大の収入源であり、2017-18年度の1億300万ドルの予算のうち約7,400万ドルを占めています。現在お支払いの会費60ドルのうち、32.58ドルは、RIのイベント、オンライン研修、最近アップデートされたRotary.orgなどのデジタルツール、ロータリークラブ・セントラル、アイデア応援サイト、ロータリーショーケース、ソーシャルメディアなどに使われています。

ロータリーは220の国・地域で運営されており、29種類の通貨を使用しています。今年、RIは会費60ドルのうち14.43ドルを、管理とコンプライアンス（法令順守）に割り当てます。そのお金は、翻訳・通訳、各地域への支援、世界各国の情報セキュリティ法令や個人情報保護法の順守確認などを

行う事務局や国際事務所の人件・業務費に使われます。

世界でロータリーの公共イメージを活性化することが、将来の成功に重要であることを私たちは皆知っています。R Iは、今年のお金のうち12,990ドルを、皆さまの地域でロータリーを推進するための資金に充てます。これには、ブランドリソースセンターだけでなく、世界を変える行動人キャンペーンや、ポリオ撲滅のための継続的な支援・広報でも使用できる各種資料も含まれます。

今後1年以内に、皆さま一人ひとりの会費によって、テクノロジーのインフラを向上し、皆さまのデータ、合理化されたオンラインによるご寄付、よりタイムリーなオンラインのクラブレポート、そして、より使いやすいMy

Rotary を提供できる見通しですので、次年度のお知らせを今後もお覧ください。R I 予算や会費についての詳細は、こちらのプレゼン資料をご覧ください。

皆さまには、お金だけでなく、時間とエネルギー、そして努力をロータリーのために提供していただいております。適切なかたちで、より多くの力を傾ければ、得られるものも大きくなるでしょう。私たちが共に支える国際的な絆なくして、何も達成することはできません。世界に「変化をもたらす」皆さまのご支援、ご助力に感謝いたします。

心を込めて

2017-18年度R I会長
イアン・ライズリー

■ポリオプラス概要資料

現在、ポリオが常在している国はわずか3カ国。しかし、ポリオウイルスは感染力が高く、急速に広がる性質を持っており、感染者の多くが子どもです。汚染された水や食べ物を介して感染し、その5~10%が死にいたりします。たとえ1国でも野生型ポリオウイルスが存在する限り、世界中のすべての子どもが危険にさらされていることとなります。ウイルスを世界から完全に撲滅することが極めて重要なのは、このためです。

ポリオについて知っておくべきこと

- ポリオが撲滅されなければ、今後10年間に毎年20万人が身体まひに侵されると推定されています。
- 2016年には、20億人以上の経口ポリオワクチンを使用し、4億5000万人以上の子どもに複数回の予防接種が行われました。このような予防接種は、世界の「ポリオフリー」の認定まで毎年行われます。ロータリーは、この活動に多額の資金を提供しています。
- 現在までに、ポリオプラス補助金が活用された国は122カ国にのぼります。
- 1988年に125カ国だったポリオ常在国の数は、現在3カ国まで減少しました。
- アトランタで開かれた2017年ロータリー国際大会で、世界各国のリーダーがポリオ撲滅活動に総額12億ドルの支援を約束しました。
- この額には、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの一環として、今後3年間にロータリーが毎年5000万ドルを募金する目標も含まれています。
- ビル&メリンダ・ゲイツ財団との提携の拡大により、ロータリーからポリオ撲滅への寄付に対し、ゲイツ財団が2倍額を上乗せします(上乗せの対象となるのは年間5000万ドルまで)。

ポリオ症例数 (2018年2月)

	2016年	2017年	2018年
症例数	37	22	3

一人の子どもを完全にポリオから守るための平均コストは3米ドルです。

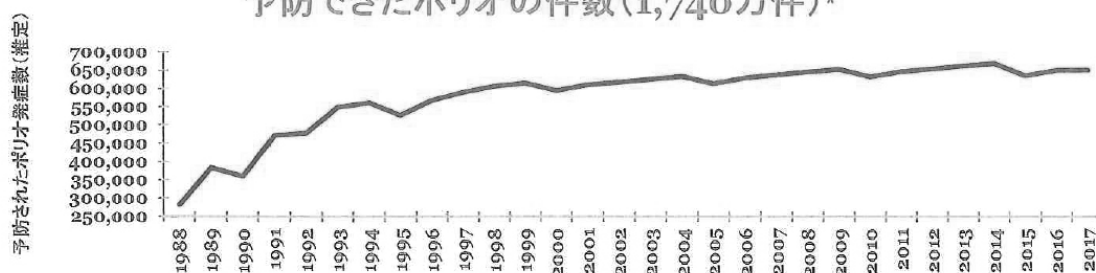


2010年に医学雑誌『Vaccine』に掲載された論文によると、ポリオ撲滅による経済への恩恵は400~500億ドルと見積もられています。

1998年以来、ポリオ予防接種活動中にビタミンAの補給も行われ、これによって150万人の子どもを死を防いだと推定されています。



予防できたポリオの件数(1,740万件)*



* 出典: WHO

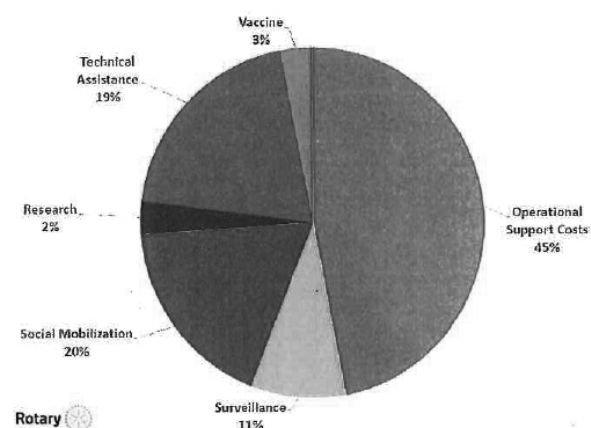
資金援助

- ポリオ撲滅最終戦略計画を全面的に実施するには、2013年から撲滅の認定まで、あらゆる方面からの寄付によって70億ドルを調達する必要があると見積もられています。
- 全世界のポリオフリーが認定されるまでに、ロータリーからポリオ撲滅活動に寄せられる寄付額は、22億米ドル以上となることが予測されています(この額にはビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せ9億8500万ドルが含まれます)。
- 1988年以来、GPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)へのロータリーからの寄付は、2016年12月までの全寄付額の11%近くを占め、民間部門からの全寄付の約42%を占めています。

ロータリーのポリオ補助金:受領国上位10カ国 (単位:100万ドル)

	受領国	WHO	ユニセフ	その他	合計
1	ナイジェリア	81	134	27	242
2	アフリカ地域	190			190
3	インド	77	88	15	180
4	パキスタン	76	83	5	164
5	アフガニスタン	45	80		125
6	スーダン	41	44		85
7	東地中海地域	60			60
8	コンゴ民主共和国	21	30		51
9	ソマリア	26	17		43
10	チャド	25	17		42

補助金の配分(2010-2017年度)



2017年ポリオプラス補助金が授与された主なプロジェクト

- コンゴ民主共和国:全国予防接種日の告知用ポスター250,000枚の費用とワクチン投与従事者32,000人分の賃金
- アフガニスタン:2回の全国予防接種日のためのワクチン投与従事者、監督者、地区コーディネーター計65,000人分の手当て
- パキスタン:全国予防接種日への認識向上にあたる現地の女性ヘルスワーカー2,500人と社会動員担当者680人の経費
- ネパールとミャンマー:ポリオの疑いのある症例の検知と調査(サーベイランス)にあたる医療関係者へのサポート

ワクチン由来ウイルスとは

予防接種率が低い地域では、経口ポリオワクチン(生ワクチン)に含まれる病原性の弱いウイルスが長期にわたって出回り、まひを引き起こすほど強力なウイルス株へと変異する可能性があります。これは「ワクチン由来ポリオウイルス」と呼ばれ、野生型ポリオウイルスとは別に追跡調査が行われます。ただし、予防接種が十分に行き届いている地域の人びとは、ワクチン由来ウイルスと野生型ウイルスの両方の感染から守られています。

支援方法

募金活動、認識向上キャンペーン、政府への支援の呼びかけ、寄付、ストーリーのシェアなどを通じてポリオ撲滅活動をご支援ください。詳しくは下記サイトから。

www.endpolio.org/ja



Rotary



unicef



BILL & MELINDA GATES foundation



ガバナーの想い 永遠に!

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井 清 治

(函館亀田RC)

ロータリーを実践という視点から考えると、その原点は個人奉仕であります。

個人奉仕と団体奉仕を比較した時、私達は、ともすれば団体奉仕の方が、大きなことが出来ると考えがちであります。個人では、何ともならないからクラブでやろう、クラブでも何ともならないから地区でやろう、地区でも何ともならないからR Iでやろうと考えがちですが、これは間違った考え方であると思います。個人のほうが、時によっては、団体より大きな成果を上げることが出来ますし、そもそも、私たちロータリーは、より大きな実践(事業)を目指している団体ではないはずす。

40年以上も前、次のような考え方をしている人がいました。

個人奉仕を鉄砲に例えて、百人が百丁の鉄砲をポンポン撃っても埒があかないから、この百丁の鉄砲をR Iが一門の大砲に煮詰めてズドンと撃ったほうが効果は大きいだろう。したがって、全世界のロータリアンよ、「R Iに寄付しよう」という発想であります。鉄砲を奉仕に例えること自体、あまり適切な例えではありませんが、仮に、それが適切だとしても、百丁の鉄砲を一門の大砲に煮詰める発想、これは、個人奉仕を標榜するロータリーとしては考えられない発想です。

なぜかという、ロータリーは、百丁の鉄砲を一門の大砲に煮詰めるのではなくて、百丁の鉄砲をそれぞれ百門の大砲に育てていく発想であるからです。百人一人ひとりの個人奉仕を、それぞれの個性を失わずに百門の大砲に育てていく。したがって、百人百様の素晴らしい大砲が出来上がることになります。そして、この一人ひとりの鉄砲を、それぞれ大砲に育て上げていくところが実はロータリークラブなのであります。

1974-75年度のR I会長ウイリアム・ロビンスが語ったように、ロータリークラブの値打ちは、そのクラブが地域社会に対して、どのようなプロジェクトを実施したかということ

で決まるのではなくて、そのクラブがどのような人間を育てたかによって決まるのであります。要するに実践としてのロータリーの心は個人奉仕にあるとすることが出来ると思うのです。

慈善事業は、ロータリーでなくても、地域社会の人なら誰でも出来ることであります。ロータリーでなければ出来ないこととは一体何か?それは心の開発であります。人を育てること、内なる人を強くすること、即ち、教育であります。だからこそ、ロータリーは倫理運動なのではないでしょうか。

ロータリーの第一義は、ロータリアンの心の育成にあります。ロータリーは、まずロータリアンを育てます。そして、社員を育てます。企業を育てます。地域社会の人を育てます。そして、若者を育てます。120年前から続けられてきたこのロータリー運動が、いまの平和で素晴らしい世界を築き上げていることを私たちは忘れてはなりません。

国立ガバナーは「質の向上」、すなわち、追求すべきは質であることを私たちに気づかせてくださいました。「ロータリーの心」というテーマを念頭に、1年間、貴重な1ページをガバナー月信に掲載させていただき、色々な視点から分析させていただきました。ロータリーの思想の視点、ロータリーの組織の視点、ロータリーの実践の視点からみてというように、さまざまな角度から地区内の皆様と共に勉強させていただきましたが、その結果は必ず職業奉仕理念に到達いたしました。

掲載にあたり、毎回素晴らしいアドバイス等ご指導いただきました塚原パストガバナー、また、何度も変更に変更を快く迅速親切にご対応いただきましたアート印刷玉田正吾社長様(函館RC)に心より感謝申し上げます。

最後に「ロータリーの心」に火を灯し続け、絶えることなく、その明るい炎で今年度のみならず、永遠に国立ガバナーの想いが全世界に広がって行くことを切に願っております。



情報提供・共有の重要性

地区クラブ支援委員会

委員長 渡 邊 葉 子

(札幌西北RC)

クラブ支援委員会は、今年度、各クラブから地区への相談窓口として設置されました。地区内各クラブ・会員と直接交流のする機会が多くございました。その中で感じた事は情報の伝達がとても大切であるということです。

各グループ・クラブ・会員それぞれが素晴らしい活動をされています。又、各地区委員会も活発に活動されています。国立ガバナーが提唱された「情報の共有」が必要とされる時代となりました。情報は持っているものではなく、自ら動いてつかむものです。「正に」と感じております。これまで以上に横の連携強化を図り、情報を共有する機会の提供が大切です。今年度行われた新会員セミナーは、クラブを超えた交流の場として参加者から好評を得ておりました。また、当別で行われた植樹事業もクラブを超えた交流の場でした。地区が各クラブのサポートを行うためにも、地区内での活発な交流の場の提供・情報提供・各地区委員会の交流などが必要となります。

次年度国際ロータリー第2510地区目標として持続可能な絶え間なき変革のスタート、

1. 組織を活性化しよう
2. ロータリーの認識・理解を深めよう
 - ①会員研修の充実・強化
 - ②クラブ相互間・グループ相互間のコミュニケーションの活発化
 - ③ガバナー月信の内容樹実、電子化の推進
3. 地域社会との関わり合いを深めようと掲げられました。

正に必要と感じました事が次年度行われようとしております。6月9日行われますRLI講習会も研修充実の一環と思われます。

各クラブからも、奉仕活動の手法・クラブ活性化のための組織改革の方法・持続可能なクラブ作りの取組み方・等々多くの情報を地区や、近隣クラブに対しお教え下さい。

ロータリーの特質は、競争にあるのではなく、協力にある、と言われております。情報の共有がクラブ活性化・地区活性化につながり、ロータリー活動の根源にある理念、職業倫理の高揚に繋がると信じているところでありませぬ。

2015-2016年度国際ロータリー第2580地区大会におけるピチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長の講話をご紹介します。

私たちが存続を続けようとするならば、ロータリーはその基本に立ち返らなければなりません。私たちがロータリーに未来を見る中で、ロータリーが原点に戻るべきだ、ということについて同意していただけたと思います。ロータリーについて多くの変化や多くの不確実なことに直面していること、そして置き換えられた多くのことに対して、しばしば大きな不満を感じることは事実です。しかし、私たちは、この状況の改善を試みなければなりません。私たちは更に奉仕に努めなければなりません。もし何か同意出来ないことが理事会からの指示にあったならば、過去にそうしてきたように、理事会に申し立てをすることが出来ます。

国際ロータリーの理事会は、世界中のロータリー運動全体を統治していますが、理事会が私たちにしたいということに、すべて従わなければならないということではありません。個々のロータリークラブは自立した存在であり、この自治権を通して、草の根ロータリアンRI理事会は同じく重要であることを認識しなければなりません。したがって、私たちロータリアンは、自発的奉仕団体であるが故に、トップダウンではなく、ボトムアップで運営されるべきであると、注意深く見つめる必要があります。

国際ロータリー第2510地区 第6グループ インターシティミーティング報告

IM実行委員会 幹事 上参郷 光 祐

(小樽RC)

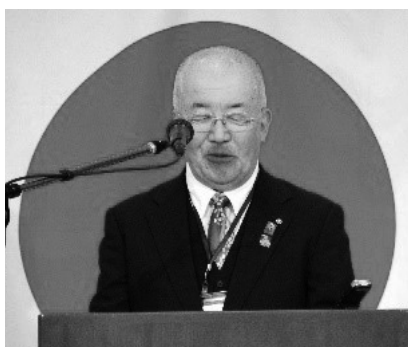
2018年4月22日(日)、小樽RCをホストとして、グランドパーク小樽にて第6グループのIMを開催いたしました。ご来賓として国立金助ガバナー、西條文雪小樽観光協会会長、森川順治地区代表幹事にご臨席を賜り、蘭越・倶知安・岩内・余市・小樽銭函・小樽南・小樽の各クラブより159名の会員のご参集をいただきました。最初に泉侑ガバナー補佐よりご来賓並びに参加クラブの紹介と末永通小樽RC会長の歓迎の挨拶に続き、泉侑ガバナー補佐より本年度のIMのテーマ「地域社会に変化をもたらすロータリー」の趣旨説明を含めた挨拶を頂きました。その後、国立金助ガバナーよりご丁寧なるIM開催へのご祝辞を頂きました。

休憩を挟み、小樽観光協会会長で小樽RCの会員でもある西條文雪氏からテーマ「観光がもたらす地域の活性化」について基調講演をして頂きました。小樽港のクルーズ船寄港の魅力や経済効果、問題点など小樽・後志の観光の魅力と未来像と地域の活性化についてご講演頂きました。その後、各クラブから地域社会に変化をもたらしている事業などを中

心に今年度の活動を発表いただきました。各クラブとも地域社会に根差した特徴のある事業を行っていることが報告されました。その後、国立金助ガバナーより、本日のIMに対する講評を頂きました。最後に泉侑ガバナー補佐より次期ガバナー補佐と次期開催地のご紹介をし、次期開催地の藤田功余市RC会長のご挨拶を頂き、平松正人IM副実行委員長の閉会の言葉と泉侑ガバナー補佐の点鐘で終了いたしました。

その後、懇親会へと移動し、森川順治地区代表幹事のご発声による乾杯で懇親会の幕が上がりました。途中、高橋哲雄次期ガバナー補佐から、各クラブの次期会長幹事をご紹介いただき、ボサノバが流れる会場で終始和やかにクラブを越えた歓談が続き、和気藹々の内に時間が進行しました。安田友美子ソングリーダーによる「手に手つないで」の輪が会場いっぱいになり、最後に津田哲哉小樽RC次期会長の言葉で閉会となりました。

この紙面をお借りして、今年度のIM開催にご協力いただいた各クラブ、そして会員の皆様に感謝申し上げます。



国際ロータリー第2510地区

第12グループ インターシティミーティング報告

【あなたの力を少しお貸してください・夢を語り合い楽しい一年に】

IM実行委員会 委員長 小幡直樹

(苫小牧東RC)

2018年5月19日(土)、苫小牧東ロータリークラブのホストにより、グラントホテルニュー王子を会場に三部構成で第12グループのインターシティミーティングを開催されました。

一部は講演会を「大腸全摘出」難病経験から医師の道へと進まれた日本うんこ学会石井洋介会長を講師に迎え、『うんコレ誕生物語・遊びながら健康診断?』を題材とした講演を苫小牧市民、周辺の町民を対象に行いました。当日は雨にもかかわらず、約350人が集まり、苫小牧ケーブルテレビでも放映されました。石井洋介先生は、15歳の時に、潰瘍性大腸炎を患い、大腸全摘手術を受け人工肛門になりましたが、自身で探し当てた横浜市民病院にて人工肛門を取り、小腸を大腸にする手術を受けています。難病経験から、自分の力を世の中に還元できれば良いと努力と苦学をし、高知大学医学部を卒業され、横浜市立市民病院から現在消化器外科医として厚生労働省老健局老人保健課にあり、在宅医療を行いながら、医療行政やヘルスケアベンチャー企業のお手伝いをして、スマートフォンアプリによるうんコレゲームを開発、がん早期発見、治療する大切さを強調して全力で取り組んでおります。

二部は点鐘、国歌斉唱、ロータリーソングの後、開会宣言をIM実行委員小幡直樹が行い、佐藤正ガバナー補佐来賓紹介、歓迎挨拶後、国際ロータリー第2510地区国立金助

ガバナーの挨拶に続き、苫小牧市長岩倉博文様に挨拶を頂きました。

国立金助ガバナー年度の「あなたの力を少しお貸してください・夢を語り合い楽しい一年に」をテーマに奉仕・親睦活動を4クラブの代表がプロジェクターを使い発表して、国立金助ガバナーより講評を戴きました

三部は大懇親会を開催しました。オープニングに苫小牧RCと苫小牧東RCが17年前に共同で設立協力しました苫小牧少年少女合唱団によります苫小牧の歌を中心に歌声を聞かせて頂きました。特にクリーンナンバー053は苫小牧市の郵便番号に一致しておりますゼロゴミソングです。このメロディーと歌声が苫小牧市のゼロゴミ推進室を作り、ゴミ回収車で苫小牧市内に毎日流しております。

大懇親会の始まりは森川順治地区代表幹事の乾杯でスタートしました。余興には、苫小牧を代表するジャズバンド、ザ・クレスターズが応援に来ました。また白老RC次年度会長山田和子会員は、ザ・ピーナッツならず柿の種を結成して「恋のバカンス」を披露し、喝采を受け、楽しい大宴会と成りましたが、あっという間に終了致しました。

国立金助ガバナー、森川順治地区代表幹事を迎えてのIMでしたが、第12グループ結末のIMと信じており、心から感謝致します。全てのロータリアンの益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。有り難うございました。



国際ロータリー第2510地区 第1グループ インターシティミーティング報告

第1グループ ガバナー補佐 轡田 光章

(深川IRC)

本年度の第1グループ、インターシティミーティングは、5月20日、深川市プラザホテル板倉を会場に、羽幌RC・留萌RC・ホストクラブ妹背牛RC・ホストクラブ深川RCの総勢120名の御登録をいただき、開催されました。

ご来賓には山下貴史深川市長をお招きし、国際ロータリー第2510地区国立金助ガバナーご出席の下、丸山淳士バスターガバナーより、今回のIMテーマ「広い心で世界に奉仕～環境保護と地域貢献」の講題で基調講演をいただきました。

基調講演では、ユーモアを交え、ロータリーの奉仕の心を、健康に気をつけながら、活動して下さいと、会場の笑いを誘いつつ、ご講演下さいました。

基調講演の後、各クラブより「環境保護と地域貢献」について事例発表がなされ、羽幌RCでは7ヘクタールに及ぶビオトープ（自然空間はぼろ）（財団支援）での23団体参加の植樹と水の環境整備への率先した活動、クラブ発足以来の年に3、4回の献血活動、そして天売・焼尻に於ける海岸線のゴミの清掃、交通安全・防犯活動がプロジェクターを使い紹介されました。

留萌RCでは、夏の海水浴場の清掃に、夏の「どんとまつり」での山車と子供たちに配布のお菓子里オエンドのシールを貼って配る活動や、昭和58年頃より始まった特別

支援学級への助成金支援、更に養育通園センターへの（財団支援）による運動遊具の贈呈、クラブによる主催の青少年サッカー大会、その他、青少年のスポーツに対する支援活動が報告されました。

妹背牛RCからは、今年度ガバナーの地区目標のメンバー一人1本の植樹をとの呼びかけに、数年前から取り組んでいる「妹背牛町に桜を植える会」のクラブの活動を紹介、1986年に始まったカーリング場は2003年専用コート完成と共に、オリンピックで活躍した選手たちも幾度となく妹背牛町のコートで競技をし、クラブ創立40周年から始めたジュニアカーリング大会は今年13回目を迎え、6チームの参加であったこと、地元から、いつかオリンピック選手が輩出されると期待したいとしました。

深川RCからは、「日本ハム少年野球教室」で、今年は7チームへのボールの贈呈、15年目になる「ふかがわプレイパーク」（財団支援）の活動が紹介され、第1グループ内のそれぞれの活動に、国立ガバナーより益々の活動をと励ましの総評をいただきました。

親睦交流会では、懐かしのメロディと共に、最後はクラブ対抗カラオケ歌合戦で羽幌RCが優勝、来年は留萌にてIMが開催されることを発表し、盛会のなかに終了させていただきました。皆様に深く御礼申し上げます。



第26回長沼国際交流フェスティバル

長沼ロータリークラブ 次期青少年奉仕委員長 **清水 慧子**

『小さな長沼から世界に眼を向けて、友愛の絆を強めたい』のスローガンのもとに始まった長沼国際交流フェスティバルも26回を迎え、今年も5月12日(土)開催されました。

地元高校のブラスバンド、室蘭工業大学留学生の笛とギターの演奏、ベトナムの米山奨学生の歌、参加子ども達とのダンス、英語での高校生の司会、中学生のウェルカムスピーチも雰囲気盛り上げました。交換留学生、米山奨学生など約50名、町内外の高校生から幼児まで約250名が参加しました。タイ、中国、韓国、フランス、オーストラリアなど16か国が参加し、国別ブースを巡って、その国の言葉で挨拶をし、スタンプを集めるスタンプラリーを楽しみました。高校茶道部による呈茶、恒例の餅つきはいつも人気です。

お忙しい中ご参加頂いた国立ガバナー並びに令夫人に心から御礼と感謝を申し上げます。特にガバナーはお餅つきにも参加して頂き、子ども達から大きな拍手と応援をもらっていました。振り返ってみると、過去25回で60ヶ国以上の参加協力を頂いております。今や長沼町の春の行事に定着、このフェスティバルに参加し、海外に関心を持ち、ロータリーの交換留学生として巣立った子ども達も何人かおられます。ガバナーはじめ、長沼町、教育委員会、さらに参加学生を送り迎えして頂いたロータリアンの大きなお力添えの賜物と深く感謝して、フェスティバルに参加ご協力頂いた各ロータリアンならびに関係者の皆様様に再度、心より御礼申し上げます。只々感謝の一語あるのみです。



新世代交流会

長沼ロータリークラブ 青少年奉仕副委員長 **青木 雄一**

私たち長沼ロータリークラブは、創立以来、ずっと国際交流フェスティバルをやってきました、今年で26回目を迎えております。フェスティバルに来てもらっている近隣クラブの留学生、米山奨学生、室蘭工業大学留学生、近隣ALT等々の外国の人達と長沼高校生がフェスティバル終了後お茶を飲みながらのテーブル座談会が新世代交流会です。

司会・進行・企画等はすべて長沼高校の生徒さんにお任せして、外国の方々と素朴な疑問や生活習慣の違い、学校生活について、家族のこと、日本に来て感動した出来事、嫌な経験、感じるままに座談してもらい、最後に高校生に発表してもらうものです。

私たち長沼クラブは、この事業の意味合いを最近特に感じております。というのは、卒業した高校生が社会に出てから、「あの時、ロ

ータリーのおじさん、おばさん、外国の人たちと知り合って、何か楽しかったなー」と何人も言っているからです。

これからも長沼ロータリークラブの活動として、この交流会を継続していきたいと考えているところです。



新会員のご紹介

(敬称略)



函館RC
梶田 明宏
4月26日入会
証券取引



千歳RC
内川 重之
4月26日入会
地方銀行



千歳RC
馬場 伸裕
4月26日入会
旅客サービス



苫小牧北RC
大木 勤
5月8日入会
生命保険



岩見沢RC
米澤 忠祥
5月10日入会
普通銀行



函館RCゆたか
三上 太
5月10日入会
損害保険

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



函館北RC

小笠原 孝

2018年3月21日 逝去
(享年84歳)

【ロータリー歴】

1989年1月 入会
1998~99年度 幹事
2002~03年度 会長
他多数の委員長を大任

【表彰】

ロータリー財団 メジャードナーレベル2
米山奨学会米山功労者 メジャードナー12回
永年出席100%表彰
2014~15年度 25年受賞 (通算27年)

長万部ロータリークラブ

友好クラブ東京葛飾中央RCとの 合同植樹事業報告

2018年4月29日、緑の日に、当クラブと友好クラブである東京葛飾中央RCと合同でエゾザクラの苗木30本を長万部町富野地区に財団の補助金を利用して植樹しました。

写真は中央左に指導していただいた北海道林業指導家の丹野さんと長万部RC会員です。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 マンスリーニュース

2018.5.14

ハイライトよねやま

Vol.218

さいたま大空RC 5周年を迎えました

4月15日、第2770地区さいたま大空ロータリークラブの創立5周年記念式典が行われ、大貫等ガバナーをはじめとするロータリアンや学友、総勢約80人が若いクラブの節目を祝いました。

同クラブは、財団学友と米山学友を会員とする世界初のクラブ。記念式典は、米山学友のマヘンダサナーヤカ会長(1995-97/吉川RC)の出身国、スリランカの伝統に由来する儀式や舞踏で幕を開け、地区クラブ拡大特別委員長の田村亮夫パストガバナーや特別代表の恵川一成氏らが、これまでのあゆみを振り返りました。

クラブでは毎年「春節を祝う会」を開き、日本の子どもたちへ海外文化を学ぶ場を提供しているほか、ミャンマー・ネパール・スリランカへの教育・識字率向上プロジェクトを実施しています。

次年度会長は米山学友のシュレスタ・ラジャン・

クマルさん(2011-12/大宮南RC)。同地区の国際奉仕活動を牽引するクラブとなるよう、大きな期待が寄せられています。



米山翁の合同墓参 —東京学友会・第2590地区学友会—

ロータリー米山奨学生学友会(東京)(以下、東京学友会)と第2590地区米山学友会が4月14日、合同で米山梅吉翁の墓参に、横浜市鶴見区の総持寺を訪れました。

東京学友会では昨春、初めて同墓所の清掃ボランティアを実施。その後、全国米山学友会会長セミナーでの交流をきっかけに、今年は総持寺の地元である第2590地区米山学友会と合同で活動を行うこととなりました。当日は、両地区のロータリアン・学友の計21人が参加し、墓所の清掃と総持寺見学の後、米山梅吉翁の墓前に手を合わせ、昼食会で交流を深めました。東京学友会の梁一強会長は「互いに知り合い、交流できたのは、米山梅吉翁がいたからこそ。奨学期間が終わっても、このような活動ができる環境があれば、米山の輪から離れることはありません」。また、第2590地区学友会のジャンマニーガム・アモンサク会長も「お墓を清掃して、

皆の心がとても穏やかになりました。東京学友会の活動や総会の内容を聞くこともでき、大変参考になりました」と、それぞれ今回の合同イベントを実施した意義を語ってくれました。



寄付金速報 —50周年度も残り2カ月—

4月までの寄付金は前年同期と比べて6.4%増(普通寄付金:0.5%増、特別寄付金:9.7%増)約7,700万円の増加となりました。4月は大口寄付が多かったことなどもあり、先月よりも更に好調な状態で推移しています。ご寄付をいただきました皆様に厚く

御礼申し上げます。本年度も残すところ2カ月を切りました。まだ普通寄付金をお送りいただいていないクラブは、お早目に送金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight218.pdf.pdf>



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F / Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

編集担当: 野津・峯

[E-mail] highlight@rotary-yoneyama.or.jp

[URL] <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2018年6月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■嬉しいニュース



去る4月27、28日イタリアのターラントで、イアン会長主催の平和会議（母子の健康）が開催されました。その席で偶然、財団学友（2006～2008年）の澤屋奈津子さんにお会いしました。彼女は2760地区名古屋大須ロータリークラブをスポンサーに持つ、活発な女性活動家です。現在はアフリカのニジェールに住み、現地で仕事に励まれています。彼女とは、昨年アトランタ大会で名刺交換をして我が地区出身と知り、親近感を覚え家内と3人で30分くらいお喋りをしたので、今回の再会は3人で抱き合って喜びました。

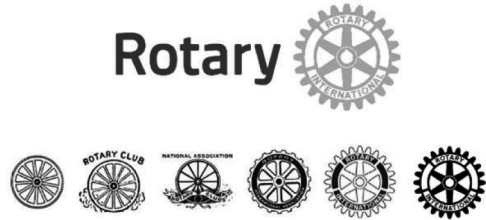
しかし、平和フェローなど海外で働く学友の中には精神的に病む者、就職先が決まらない者など、新たな課題となっています。社会に出てからも彼等と連絡を取り合い相談相手となって、彼等の志を頓挫させないようにしたいものです。

国際ロータリー 理事 斎藤直美

■ロータリーの評価は毎日の行動

ロータリアンは、ロータリーをどのように思い、感じて、どう行動していきたいのでしょうか。もちろんそれぞれ思いも違いますし、行動していきたい内容も異なります。しかしロータリアン以外の人はクラブもロータリアンも同質とみえています。全体像がいわゆるロータリーの中核的価値観に合致すれば公共イメージと認知度につながります。自分たちの土俵であるロータリーを良くすることは自分自身をさらに高めることができます。それにはロータリーを学ぶことです。日常生活において、物事に興味をもって取り組むと、さらに楽しめることが多いことと同じだと思います。

公共イメージと認知度の向上は、いわゆるブランディングであります。ロータリアンに気づくいろんな伝統・行事があります。古い歴史がありますが、その時代時代において人々が引き継ぎ、さらに良いものに変えてきたものが残っているわけです。今世紀に増加しているボランティア団体の中に、ロータリークラブが存在しているその重要性、良さを実感できるためには、一人一人がどうロータリークラブに貢献できるか、仲間と楽しめるかを考えていくことだと思います。そして、ロータリーが他の人から評価されるのは、ロータリアン個々の毎日の行動や発言によるものが大であると自覚することが必要であると私は思います



第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規

■なぜ、公共イメージの向上が必要か

「ロータリーはこの14年間、会員が増えていない。クラブ数は15%増えているがバケツから水が漏れている状態だ」これは私がこの3月に参加したエバンストンの研修であるモデレーターから聞いた言葉である。RIの危機感をひしひしと感じた。多額の費用をかけたアンケートの結果、ロータリーを知る人が意外と少なく、また知っていてもその活動についてほとんど知られていなかった。改めて今「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどう違うのか」「なぜロータリーが必要なのか」が私たちロータリアンに一人ひとりに問われている。

2011年にRIはロータリーの公共イメージ向上を目的とした数年間の取り組みを開始した。その目的はロータリーに対する理解を促進すること、また現会員や入会見込者、寄付者、戦略パートナーのモチベーションを高め行動を促すことである。近年、戦略計画の1つの「公共イメージと認知度の向上」について「世界を変える行動人」キャンペーンが推進されている。

これは従来のロータリーと一般社会とのコミュニケーションのあり方を見直すもので長期的かつ「私たちが何者であるかを伝えるキャンペーン」である。具体的にはロータリーのアイデンティティ（ロータリーらしさ）を共通のビジュアルを用い、様々な活動の行動に焦点を当て、かつ「物語」（ストーリー）に仕立て社会に発信しようというものである。クラブの活動・文化をストーリーにしてSNSなどで発信することで社会から共感を得る狙いがある。確かに人は物語から学び感動する。この点においてホームページの見直しも必要ではないか。そこに共感を呼ぶストーリーがあるか。写真1枚にも活動するロータリアンの姿が生き生きと映し出されているか。行動を呼びかけるものになっているかどうか。ご検討をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春

■公共イメージ向上につながる三つの基本

本年度第3ゾーンでは、各クラブと地区の公共イメージ向上につながる三つの基本的な活動の推進に取り組みました。一つはロータリー活動のマスメディアを通じた広報活動のルーティン化、二つ目は会員の「My Rotary」への登録率アップ、三つ目は「Rotary Club Central」への各クラブの入力と、活用率のアップでありました。二つ目と三つ目の目標は今期かなりの前進が見られましたが、広報活動は地区によっては進展が見られるものの、次年度は更なる新たな戦略が必要です。各地区リーダーの皆様のご協力を引き続き宜しくお願い致します。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■今年度スタート時のアンケートから

地区リーダーの皆様は「魅力あるクラブ、個性的なクラブを目指すことがクラブの活性化に繋がり『退会防止』『会員増強』に効果を発揮する」とお考えでしたので、目的達成支援の為に地区別専任担当のARCの方々から、より具体的な情報ときめ細やかな施策を提供させて頂きました。地区・クラブの環境などの違いから画一的な支援では対応しきれないことを改めて感じ、専任担当制は効果があったのではと結果に期待しております。高島・伊藤・穴井ARCの地道なご努力とご協力に心より感謝申し上げます。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男

お陰様をもちまして地区ガバナーをはじめ、関係者の皆様のご協力により2017-18年度の国内3ゾーン合同のコーディネーターニュースは年度最終号（6月号）をお届けすることができました。2018-19年度も引き続き発行を予定していますのでよろしくお願致します。地区において私どもコーディネーターがお役に立つことがあれば遠慮なくもよりのコーディネーターにお申し付け下さい。

編集担当 第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人

米山奨学生の紹介



日本での生活及び奨学生についての感想

イ デ リ
依 徳 日

(中国・内モンゴル)

室蘭工業大学・室蘭東RC

私は平成24年9月に日本に来まして、今は室蘭工業大学工学専攻先端情報電子工学コースの博士三年生です。性格はとても情熱的で、スポーツが大好きです。

昔からずっと漫画SLAMDUNKが好きで、ぜひ、この漫画を作る国に行ってみたかったから、5年前に日本に来ました。日本に来てから、お寿司と日本酒を気に入るようになりました。今年4月から、ロータリー米山記念奨学金の奨学生として、「長沼町国際交流フェスティバル」「室蘭イタンキ浜海水浴場清掃及びインターアクト部会」「2017年度米山記念奨学生研修旅行」などいろいろな交流会やボランティア活動に参加しました。これら貴重な機会を通して、ロータリーの精神を学ぶことができ、いろんな国の奨学生・学友と深く交流ができたことで、互いの興味、国の習慣、考え方について異文化の

理解なども深めることができました。また、お世話クラブ室蘭東ロータリークラブの例会などに参加させて頂くことによって、ロータリーアンたちは経営者や技術者など様々な分野において、社会奉仕などを行っている貴重な話を伺え、人生の道に対しても考え方も豊かになったと感じています。

博士の学生として、光学などの分野に応用されることが期待されている高温超電導体アンジュレータのシミュレーションについて研究しています。卒業後に日本の研究所、あるいは中国の大学で今の研究をさらに進めたいです。これからも米山奨学生として、社会奉仕及び国際親善の心を持ち、友好交流やボランティア活動などに参加したいと考え、日中友好の懸け橋となって、微力ながら貢献したいと思っております。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

栗山RC 伊藤 三也会員 (1回) 4月10日
静内RC 河原 秀幸会員 (1回) 4月23日

静内RC 佐藤 雅裕会員 (5回) 4月23日
七飯RC 上野 一義会員 (23回) 4月2日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川RC 松原 章会員 (2回) 4月27日
滝川RC 宮崎 英彰会員 (2回) 4月27日
滝川RC 渡邊 恭久会員 (7回) 4月27日
札幌南RC 松根壽史男会員 (1回) 4月27日
札幌真駒内RC 齋藤 康嗣会員 (7回) 4月20日
札幌南RC 服部 信吾会員 (3回) 4月26日
小樽RC 上浦 庸司会員 (1回) 4月6日
小樽RC 泉 侑会員 (2回) 4月6日
小樽RC 末永 通会員 (2回) 4月24日
小樽RC 金久保兵士郎会員 (3回) 4月6日
小樽RC 野口 英機会員 (3回) 4月6日
小樽RC 高田 義人会員 (4回) 4月6日
小樽RC 吉村 克之会員 (4回) 4月6日
小樽南RC 村越 仁会員 (1回) 4月24日
小樽南RC 松浦 光紀会員 (2回) 4月24日
小樽南RC 坂口 榮一会員 (2回) 4月24日

小樽南RC 鈴木 崇史会員 (2回) 4月24日
小樽南RC 廣瀬 保男会員 (3回) 4月24日
小樽南RC 野村 定弘会員 (3回) 4月24日
小樽南RC 斎藤 仁会員 (3回) 4月24日
小樽南RC 米山 八郎会員 (3回) 4月24日
小樽南RC 新倉 吉晴会員 (4回) 4月24日
室蘭RC 松岡 健一会員 (1回) 4月13日
室蘭東RC 坂東 晃 会員 (1回) 4月24日
室蘭東RC 佐々木彰夫会員 (1回) 4月24日
室蘭東RC 神島 茂夫会員 (2回) 4月24日
函館亀田RC 金澤 浩幸会員 (1回) 4月24日
函館亀田RC 笹川 哲二会員 (1回) 4月24日
七飯RC 上野 一義会員 (8回) 4月3日
函館五稜郭RC 上加 淳悦会員 (1回) 4月27日
函館五稜郭RC 川村 隆夫会員 (1回) 4月27日
函館五稜郭RC 中川 正光会員 (1回) 4月27日

函館五稜郭RC 朝倉 純一会員 (2回) 4月27日
 函館五稜郭RC 柏木 秀之会員 (2回) 4月27日
 函館五稜郭RC 河村 隆平会員 (2回) 4月27日

函館五稜郭RC 小林 大輔会員 (2回) 4月27日
 函館五稜郭RC 石坂 仁会員 (7回) 4月3日
 苫小牧RC 阿部 喜朗会員 (1回) 4月10日

ポール・ハリス・フェロー

札幌南RC 伊藤 利道会員 4月27日
 札幌真駒内RC 法福 修佳会員 4月20日
 小樽RC 松倉 弘会員 4月11日
 小樽南RC 地山 敬胤会員 4月24日
 小樽南RC 林 正章会員 4月24日
 小樽南RC 石川 稔会員 4月24日
 小樽南RC 松尾 香和会員 4月24日

小樽南RC 山谷 憲弘会員 4月24日
 函館亀田RC 川口 孝徳会員 4月24日
 江差RC 田畑 裕士会員 4月29日
 函館五稜郭RC 星井 英人会員 4月27日
 函館五稜郭RC 南部 洋会員 4月27日
 函館五稜郭RC 狹々谷勝文会員 4月27日

地区カレンダー (6月)

6月 ロータリー親睦活動月間			
1 (金)		18 (月)	
2 (土)	第7グループIM (由仁) 蘭越RC 創立50周年記念式典	19 (火)	
3 (日)		20 (水)	
4 (月)		21 (木)	
5 (火)		22 (金)	
6 (水)		23 (土)	札幌モーニングRC 創立30周年記念式典
7 (木)			
8 (金)		24 (日)	
9 (土)	RLI 体験セミナー 財団学友会・財団奨学生壮行会・懇親会	25 (月)	
10 (日)		26 (火)	
11 (月)		27 (水)	
12 (火)		28 (木)	
13 (水)		29 (金)	
14 (木)		30 (土)	ローターアクト地区大会 (札幌) 青少年交換受入入学生送別会 2017-18年度終了
15 (金)			
16 (土)			
17 (日)	現新地区委員長・ガバナー補佐合同 引継ぎ会議 (札幌)		

2018年6月のロータリーレート 1ドル 110円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.4.30	増	減	
1	深川	4	30	33	3	2	82.29
	羽幌	3	45	44	-1	2	82.57
	妹背牛	4	7	7	0	0	82.14
	留萌	3	34	36	2	3	82.27
	小計		116	120	4	7	82.32
2	赤平	4	29	29	0	2	77.60
	芦別	3	32	31	-1	2	72.45
	砂川	4	41	42	1	1	98.11
	滝川	4	87	94	7	4	74.50
	小計		189	196	7	9	80.67
	3	美唄	4	29	25	-4	0
江別		4	32	32	0	1	81.13
江別西		4	29	30	1	4	87.50
岩見沢		4	75	77	2	0	96.31
岩見沢東		3	19	19	0	2	86.60
栗沢		3	19	19	0	1	90.20
栗山		3	26	23	-3	4	83.33
当別		3	27	27	0	0	86.42
小計			256	252	-4	12	86.85
4	札幌	3	117	117	0	2	99.11
	札幌はまなす	4	21	18	-3	2	80.56
	札幌北	4	42	41	-1	4	82.42
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	80.85
	札幌西	4	48	49	1	9	80.82
	札幌西北	3	34	34	0	3	87.30
	札幌手稲	3	39	40	1	4	92.41
	小計		335	333	-2	24	86.21
5	札幌東	4	132	125	-7	0	96.51
	札幌清田	4	13	12	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	66	67	1	11	99.04
	札幌真駒内	4	23	24	1	6	100.00
	札幌南	4	85	90	5	2	96.89
	札幌大通公園	2	13	14	1	4	64.20
	新札幌	3	24	24	0	4	90.31
	小計		356	356	0	31	92.42
6	岩内	4	21	21	0	1	66.66
	倶知安	4	40	39	-1	4	70.00
	小樽	4	73	75	2	4	84.75
	小樽南	4	67	65	-2	4	88.12
	小樽銭函	3	19	20	1	1	82.00
	蘭越	4	10	10	0	0	95.00
	余市	4	45	45	0	6	80.90
	小計		275	275	0	20	81.06

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員6名)を含む

4
月
出
席
率
:
会
員
増
減
数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,578人(168人)
増加会員数	27人
当月平均出席率	82.1%

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.4.30	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	90.47
	千歳セントラル	4	43	41	-2	8	72.12
	恵庭	4	48	50	2	3	77.37
	北広島	3	20	19	-1	0	81.25
	長沼	3	17	17	0	3	82.35
	由仁	2	7	7	0	0	85.71
	小計		198	204	6	21	81.55
8	えりも	2	16	16	0	1	100.00
	三石	4	12	13	1	0	70.00
	様似	3	18	18	0	1	81.48
	静内	4	69	69	0	5	86.50
	浦河	4	26	27	1	2	82.41
	小計		141	143	2	9	84.08
	9	伊達	4	60	64	4	1
室蘭		4	33	33	0	1	67.42
室蘭東		3	31	38	7	1	68.50
室蘭北		4	42	46	4	3	69.57
登別		4	28	26	-2	1	80.77
洞爺湖		2	10	10	0	0	100.00
小計			204	217	13	7	78.17
10	函館	4	76	77	1	0	71.48
	函館亀田	3	40	43	3	4	75.40
	森	3	36	37	1	0	71.00
	七飯	4	12	12	0	0	60.40
	長万部	3	8	10	2	0	63.30
	函館セントラル	4	22	22	0	2	81.82
	小計		194	201	7	6	70.57
11	江差	2	11	11	0	1	68.18
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	82.95
	函館東	4	45	45	0	8	71.59
	函館北	3	20	17	-3	0	96.08
	北斗	4	13	12	-1	0	54.20
	小計		144	141	-3	9	74.60
12	白老	3	29	28	-1	3	76.00
	苫小牧	4	55	57	2	3	79.91
	苫小牧東	4	29	28	-1	5	83.93
	苫小牧北	4	30	27	-3	2	91.23
	小計		143	140	-3	13	82.77
合計		2,551	2,578	27	168	82.18	

親愛なるロータリアンの皆さん

トロントで開催される第109回ロータリー国際大会で皆さんをお迎えすることを楽しみにしています。きっと、さまざまなインスピレーションを得られることでしょう。大会は世界中のロータリアンと出会い、アイデアを交換し、学びあえる素晴らしい機会です。多くの奉仕が実施された1年を祝い、次年度へのエネルギーを充電しましょう。

ビジネス、金融、芸術、文化のグローバルセンターとして、トロントは活気に満ち、親しみやすく、多様性に富んでいます。そう、ロータリーと同じです。トロントは、ロータリーでの経験と同じように誰もが楽しめるカナダ最大の都市です。美術館、博物館、レストラン、ショッピング、見事な建築物があり、カナダが誇る大自然にも、身近に触れることができます。

今年、ローターアクトは、50周年を迎えます。米国ノースカロライナ州で始まった小さな青少年プログラムがロータリー最大のプログラムの1つに成長し、全世界で9,500以上のクラブが291,000人を超える若者に奉仕、親善、成長の機会を提供しています。トロントで、ローターアクターと共に発展の軌跡を祝えることを楽しみにしています。

私たちは1年を通じてクラブで奉仕し、仲間がいること、つまり、世界中ほとんどの国で活動するグローバル組織の一員であることを認識します。国際大会は、120万人の会員を擁するロータリーの多様性を最も実感できる素晴らしい機会です。大会に参加して、一緒に変化をもたらしましょう！

Jan

2017-18年度RI会長
イアン H.S. ライズリー

大会へのご登録: riconvention.org

文庫通信

(368号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

◎「私がロータリアンになって学んだこと」 (D.2660地区大会参考資料)	田中作次 2017 1p
◎「素晴らしいロータリアンであり続けるために」 3p (D.2790地区大会記念誌)	渡辺好政 [2018]
◎「奉仕の理想(理念)と職業奉仕論について」 (D.2530月信)	渡邊宏二 2018 2p
◎「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」 (D.2780地区大会報告書)	三木明 2018 7p
◎「『四つのテスト』に対する愚見」 (D.2710月信)	岡田幹矢 2018 1p
◎「ロータリーの今日的課題」 (D.2530地区大会記念誌)	鈴木秀憲 [2018] 17p
◎「会員増強の新しい考え方」	2018 2p (D.2650月信)
◎「会員増強の発展(3つの方法があります)」 (D.2660地区大会参考資料)	加藤玄静 2017 1p
◎「会員維持のための12のポイント」 (D.2660地区大会参考資料)	加藤玄静 2017 1p
◎「夢を語り、現在(いま)を刷新(ガバナー月信ロータリーコラム総集編)」	刀根荘兵衛 2017 67p

(上記申込先: ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供/函館国際観光コンベンション協会

Rotary
District 2510

